

町政を問う

農家負担なく災害復旧を！



幅田千富美

農家負担なしで災害の全面復旧を！

幅田 一昨年の災害につき、今夏の集中豪雨被害が甚大。国は激甚指定したとはいえ、救済できない人がいる。「国土総強靱化」、二次災害防止減災の観点から、すべての災害を公費で、全面復旧すべき。国や県にも働きかけ、町の補助制度を見直し、すべての農家、町民を救う考えについて伺う。

町長 国の激甚指定を受け、県の制度改正により、徐々に改善はされている。これ以上は求めない。町の補助制度の見直しは検討したい。

災害復旧の公費負担のかさ上げは？

町長

国

・県制度は充実、

町制度見直し余地。

**国保の広域化中止
町民のいのちを守る
会計に改善を！**

幅田 国保は、他の医療保険から外れる、すべての町民が対象で、医療、促進、福祉の社会保障制



豪雨による災害現場

度だが、約半分は法定減免世帯で、高過ぎて払えない人が増えているのに現在、1億円以上の積立金がある。これを利用して①保険税引き下げ ②子どもの保険税免除 ③低所得者への保険税、医療費窓口負担の

減免制度拡充など、工夫して町民のいのちを守る会計にすべき。また、国に負担を求め、県一本の広域化や70歳以上の窓口負担、2、3割凍結解除の方針撤回を求めないか。

町長 これまで税額変更せず頑張っていることを評価してもらいたい。広域化

は、分母が大きくなりいいことだ。窓口負担はすでに決まっていることで国に意見する気はない。

**34億円の基金積立
を使って、町民のいのち、くらしを守れ！**

幅田 各種の基金が34億

円を上回り、その内10億円は、国債を購入している。取りくずし、町民のいのち、くらしを守るために活用すべき。

町長 県にいたとき、大変な町の借金財政をいかなことかとみていた。今やつと好転し、今さら何を言われるか。



予防医療最前線（住民検診風景）